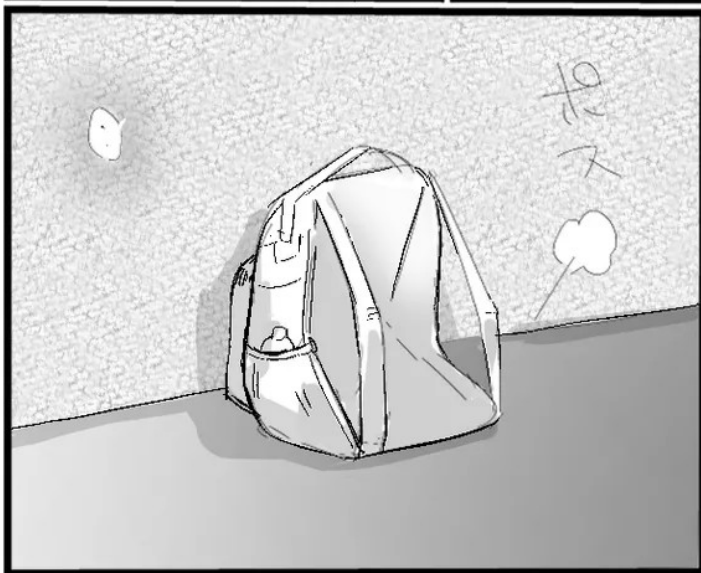


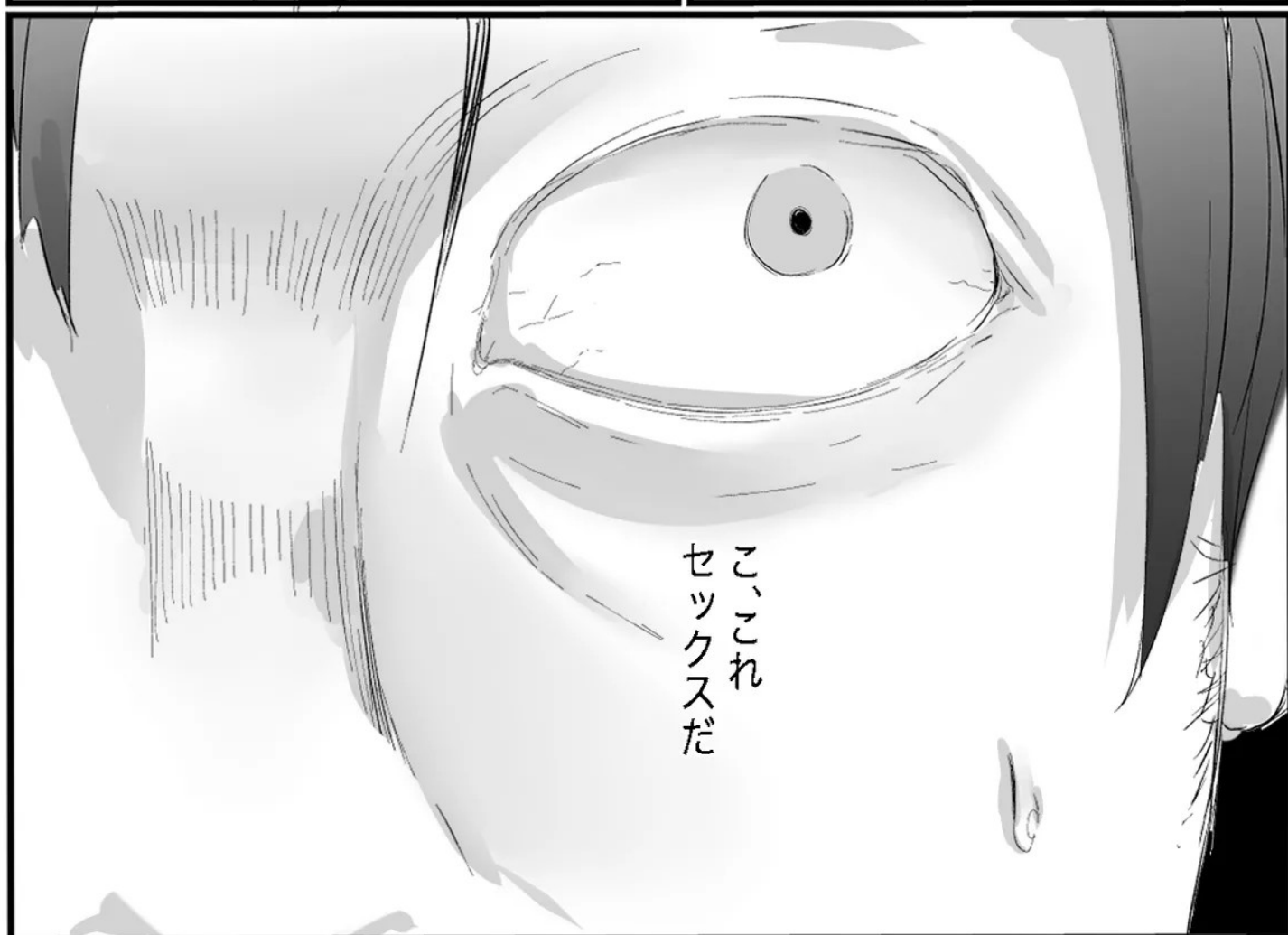
隣から

喘き声

聞えてきた話







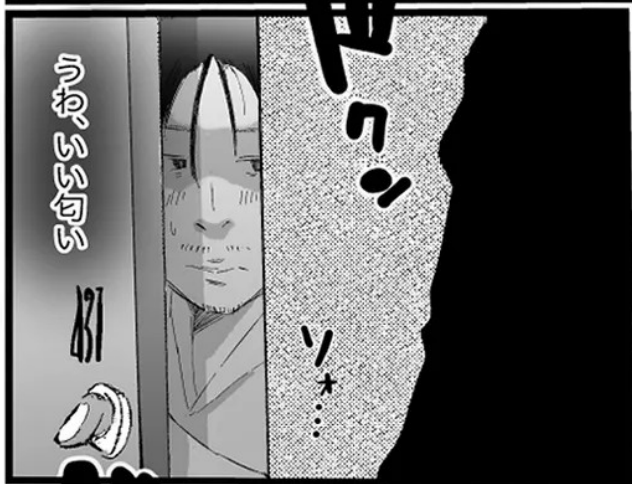
こ、これ
セツクスだ

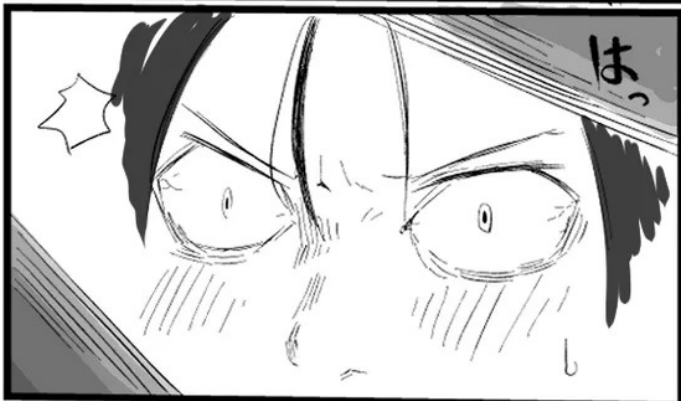
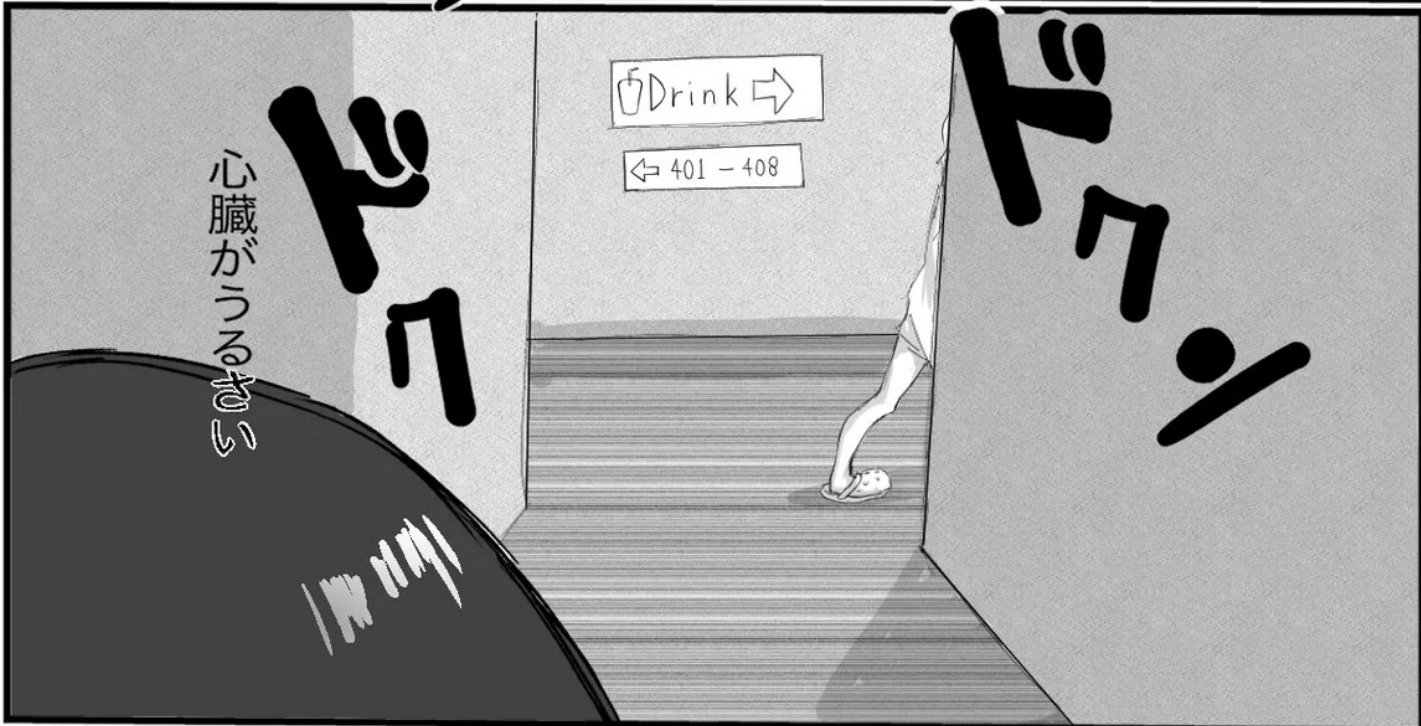


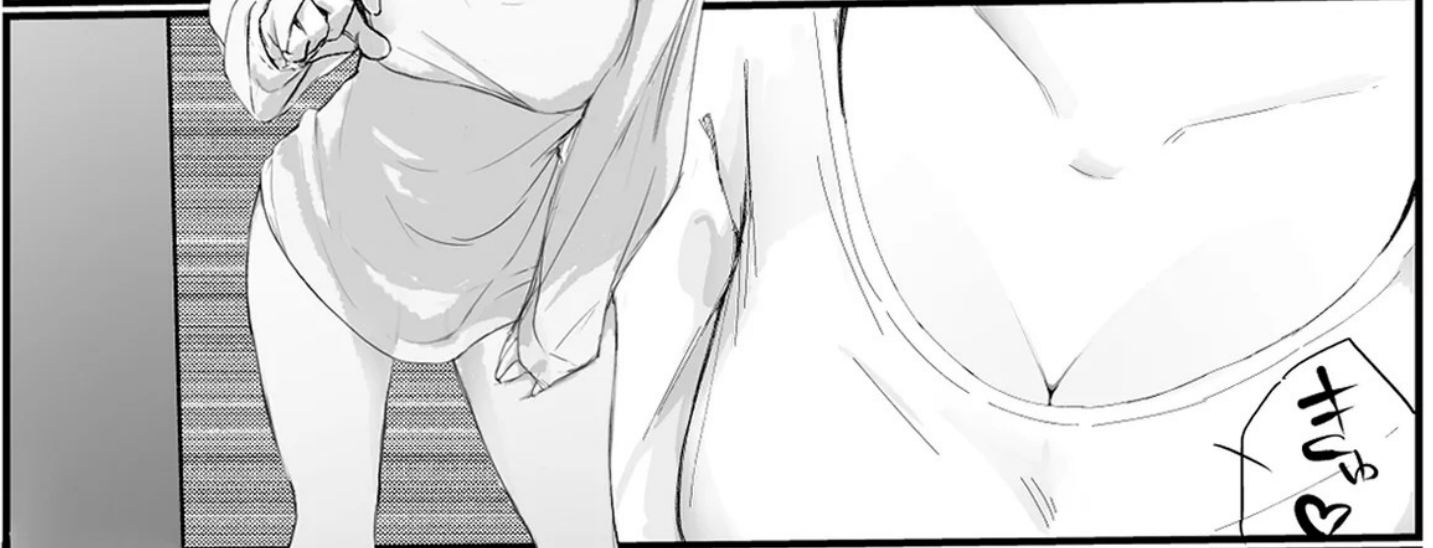
声可愛い...

うっわ
えっつる...













俺は何度も何度も
偶然を装って

かやこ...

出会うフリをして
どうにか気を
引こうと...

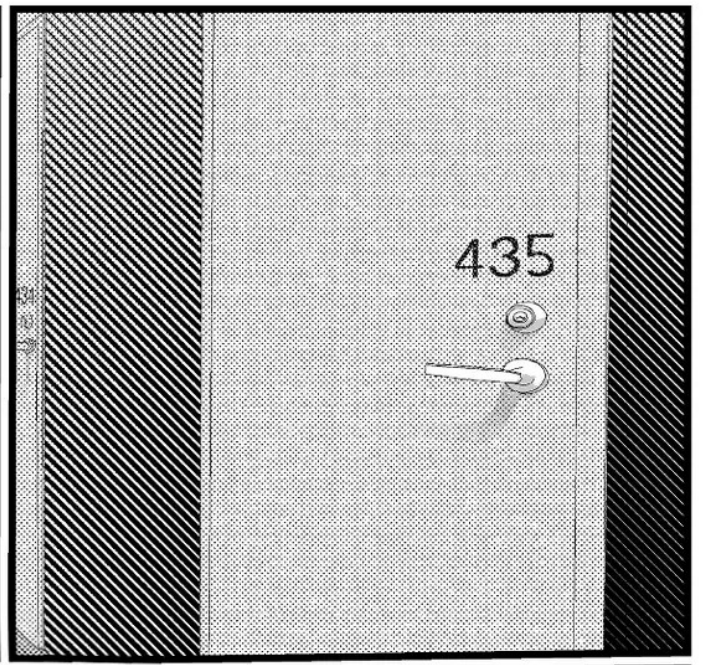
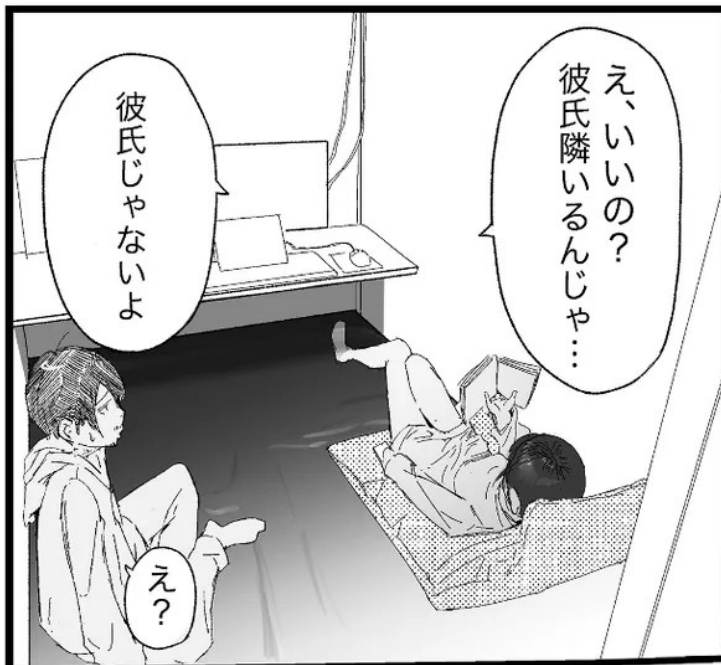
どう声をかけていいかも
わからず

ただただ粘着するだけの
時間が経った

…てか

…







俺は何故か女の子に
慣れてる感を
出す演技に
必死だった



中って…!!
こんな可愛い子が
中て…



うわあ…
えるおっ…

尻



ふっ

ムリッ

たまんねえ…





いや...



寝れるわけねえっ

こんなチャンス
二度とない!!

このまま
寝て終わって
たまるか!!

ふんふん...



襲うか?!

いや、
...説得か?

俺は血迷った結果



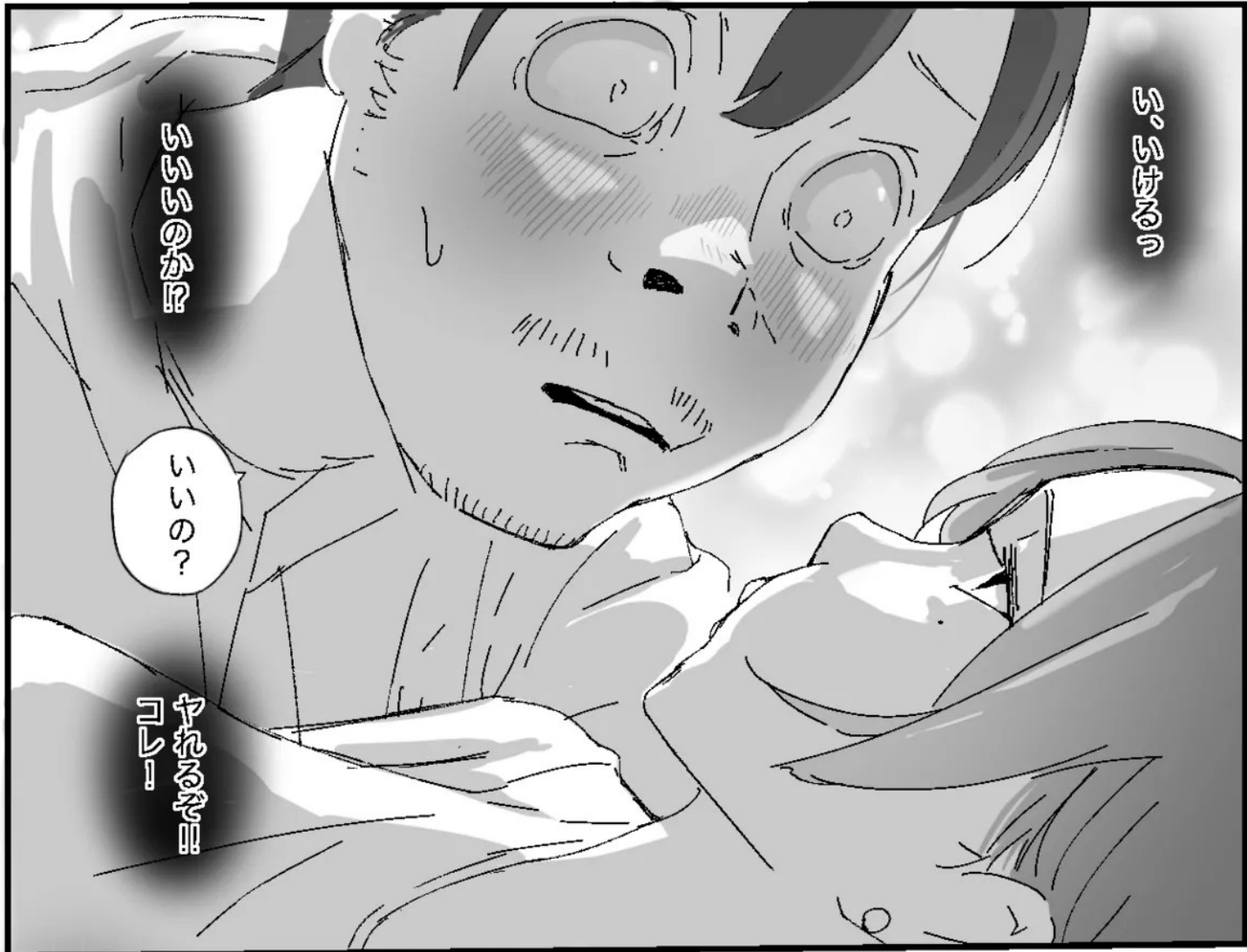
いけだー!!





し、したいっ

し、したいっ



さささささ

さささささ

さささささ

さささささ
さささささ



さささささ



さささささ

さささささ





たっ
たまんねええ!!

キス

ジュ



たっ

む

む

無我夢中でキスしまくった後に
我に帰った



もうちよいっ
ちよいっ
ね?

=222=,



はあ、

あ、
おじいちゃん...
おじいちゃん...

はあ

やべえ
がつつきすぎた



がつつきすぎた...

はあ

落ち着け...
男の余裕を...

はあ

理性保つので
精一杯だ...

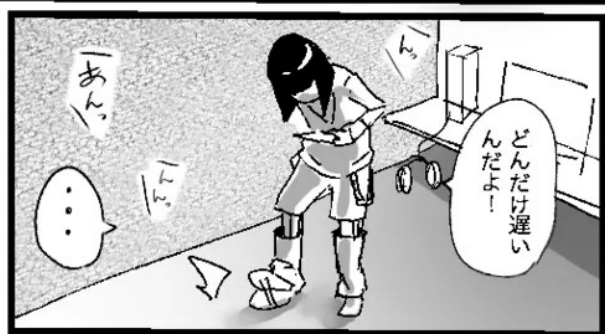


さっさと逃げな!!

キミは

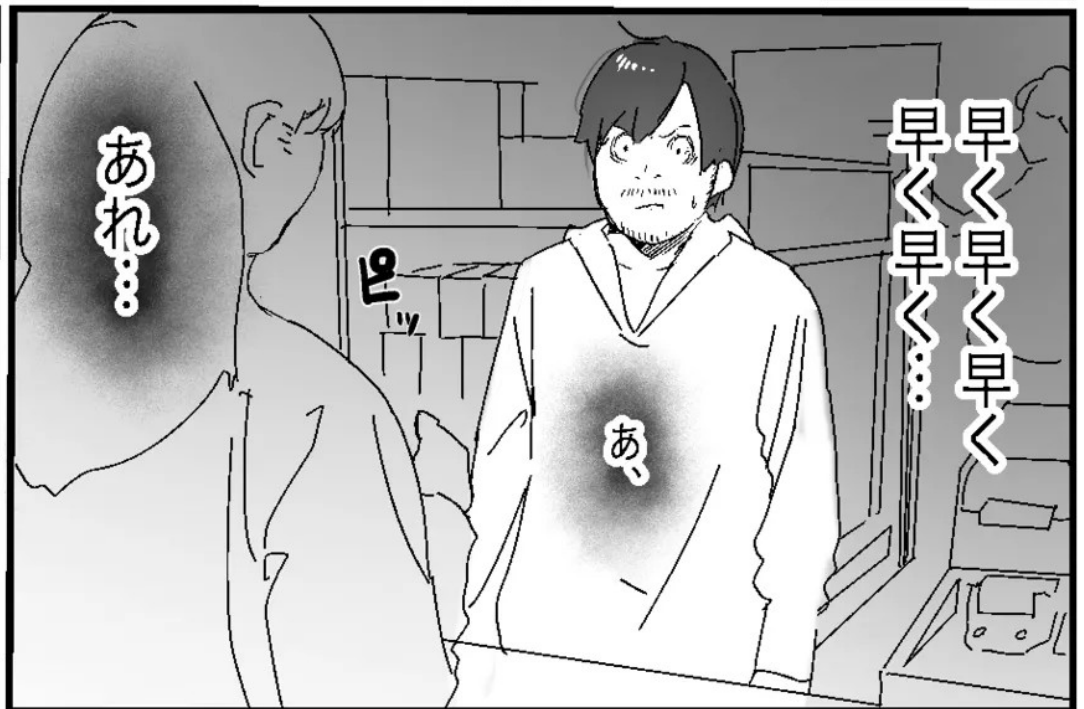
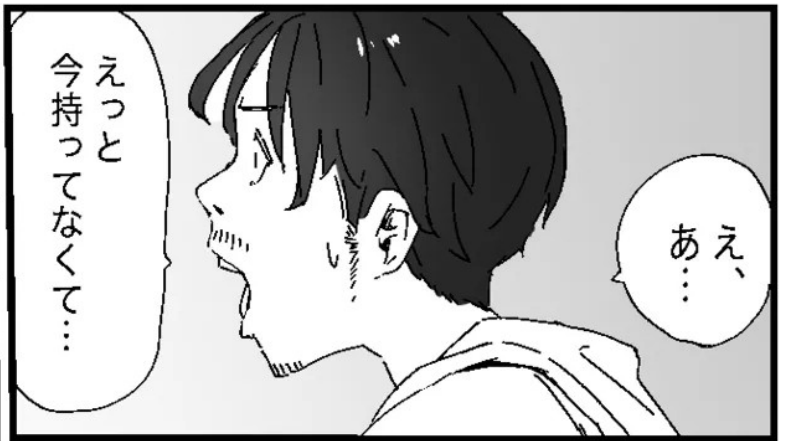
のヒーロー?

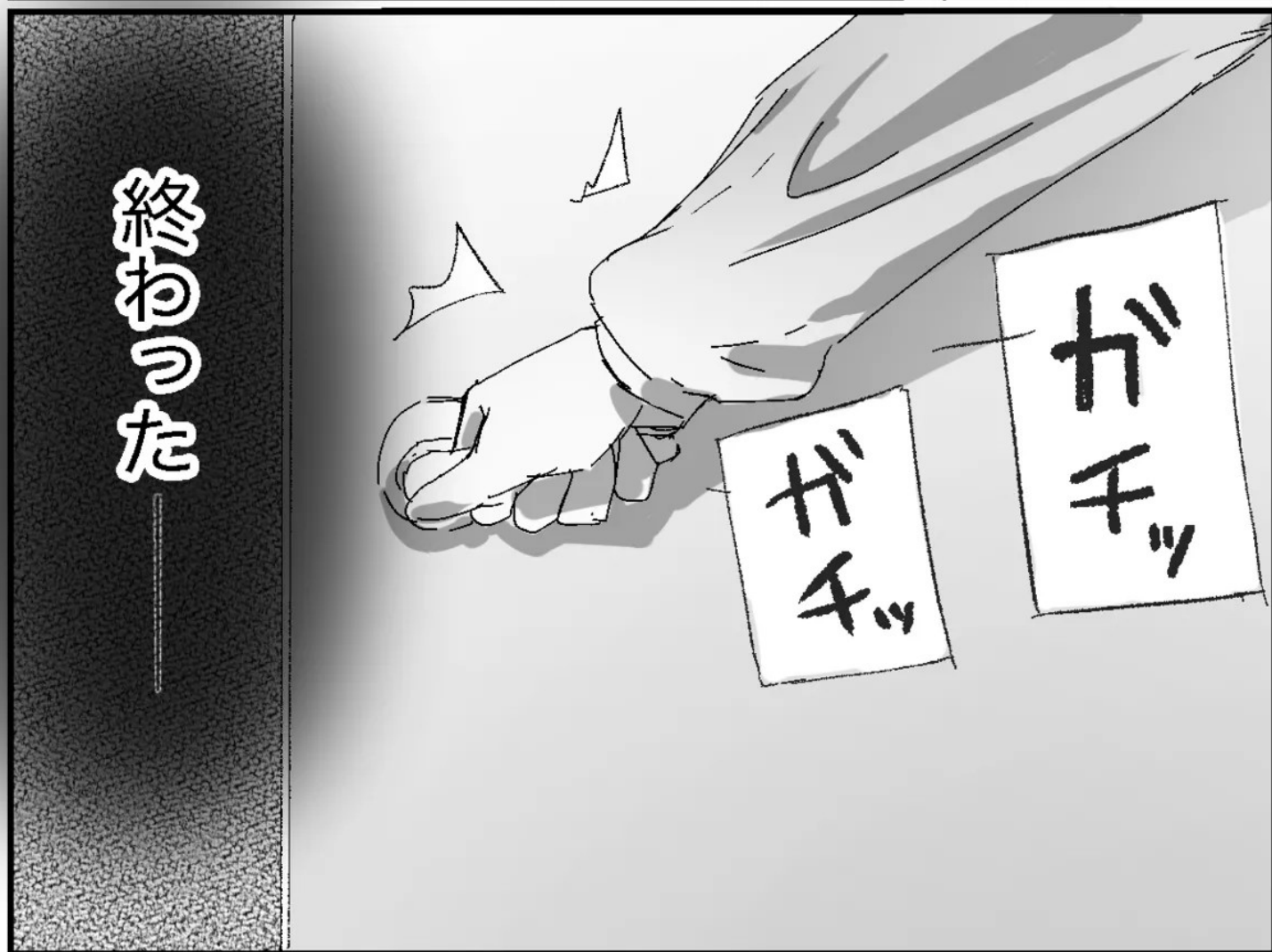
はあ

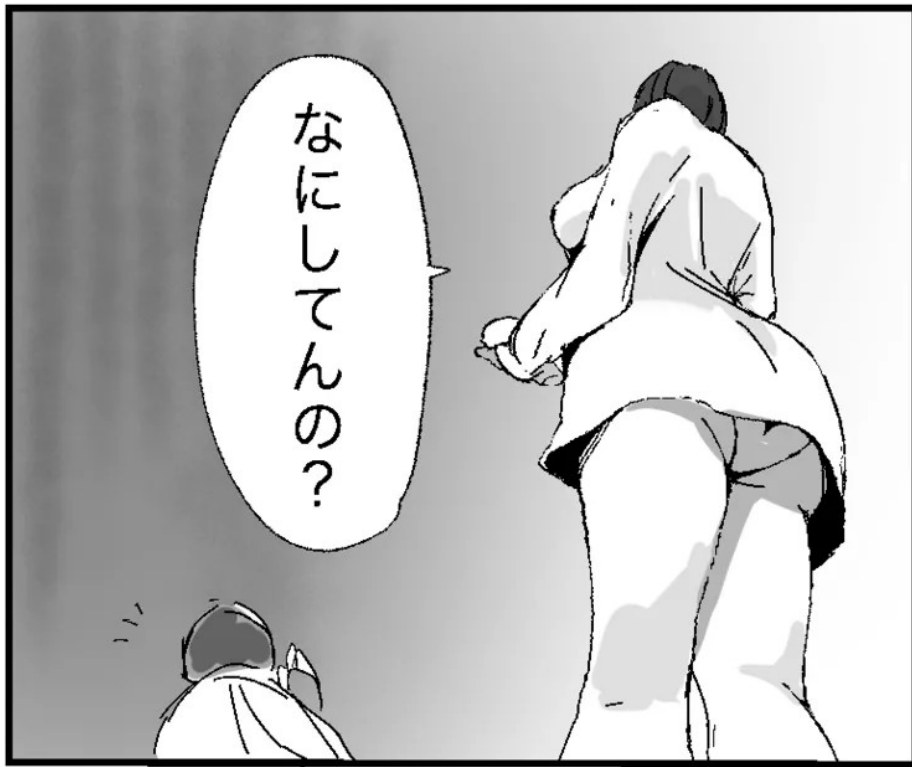












なにしてんの？



ゴゴゴ

はま... はま...

はま... はま...

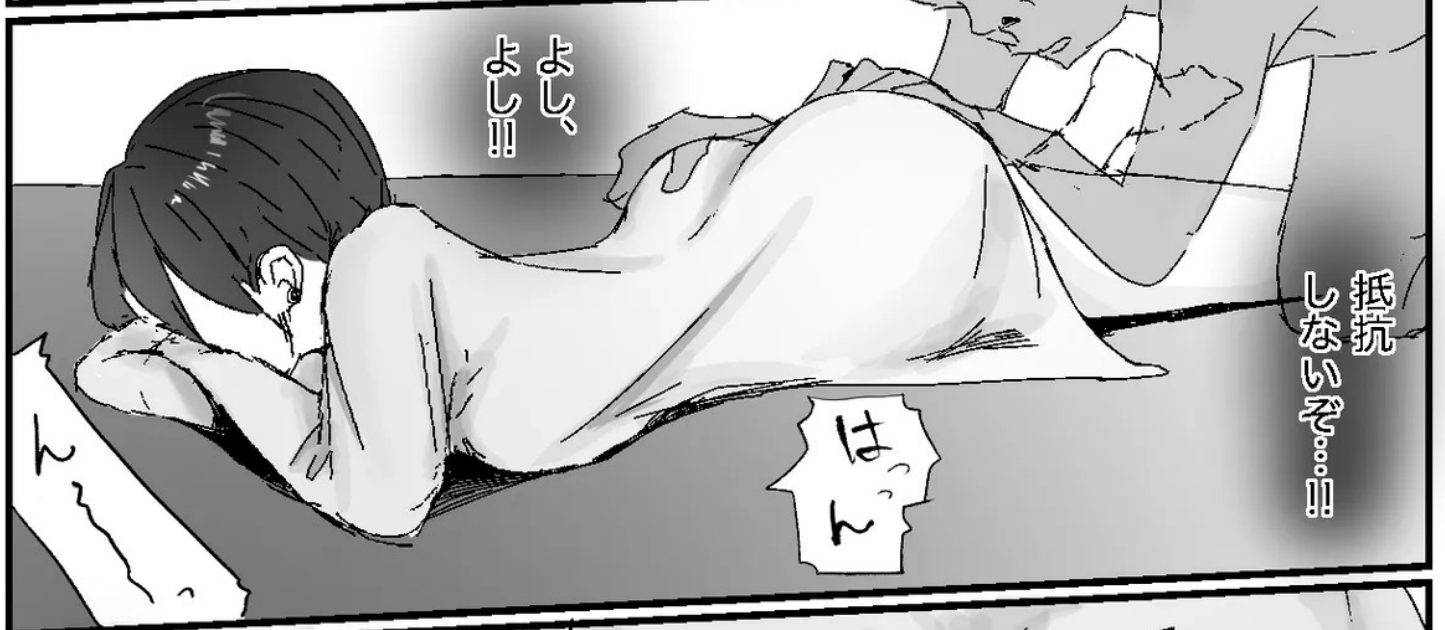
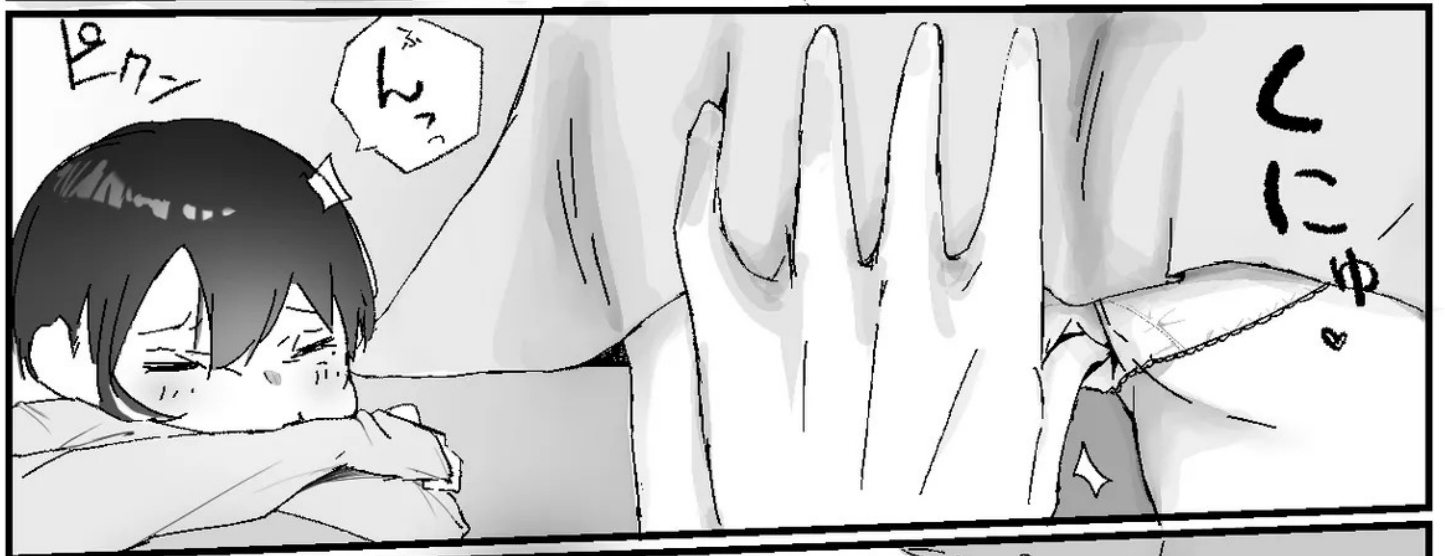


はまローリン

あ、ありがとうございます...

天使... はまなま

ま... ま...













おっぱいを!!

こんな可愛い子の

くちびるを!!



生足を!!

好きに
出来るなんて

一回で終われる
訳がない

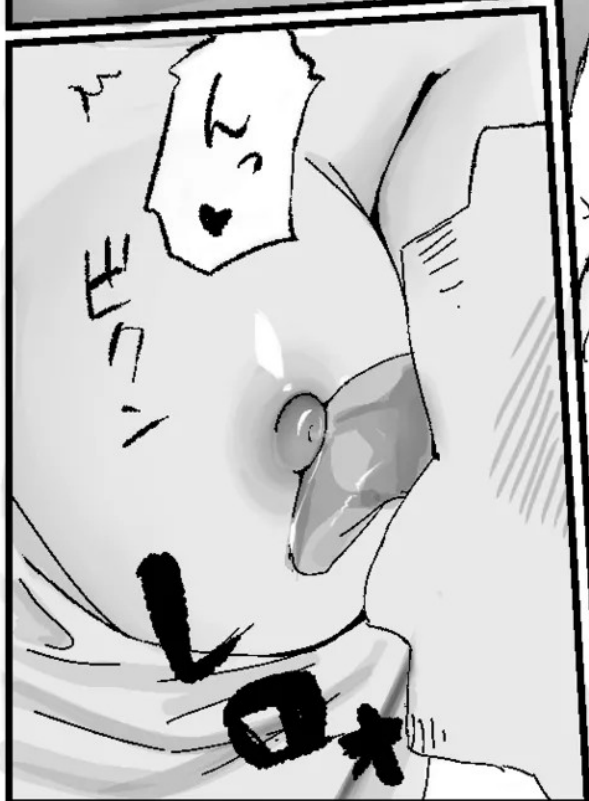
夢か?



いただきまーす



スル...



あーん

おっ



あーん
ちゅーん
ううう

あーちよっ
服汚れるってー!!



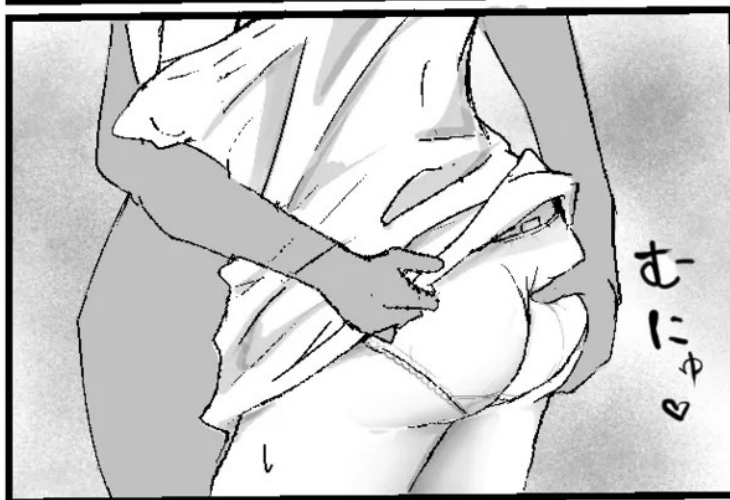
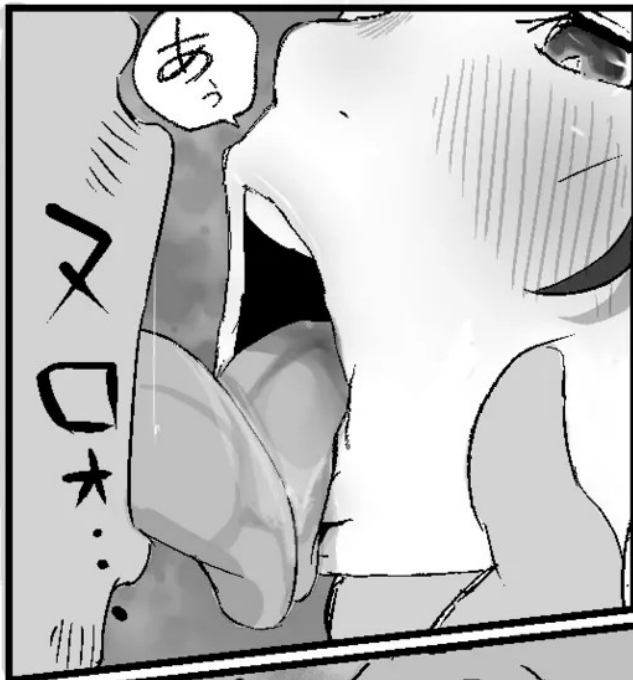
だ、大丈夫？

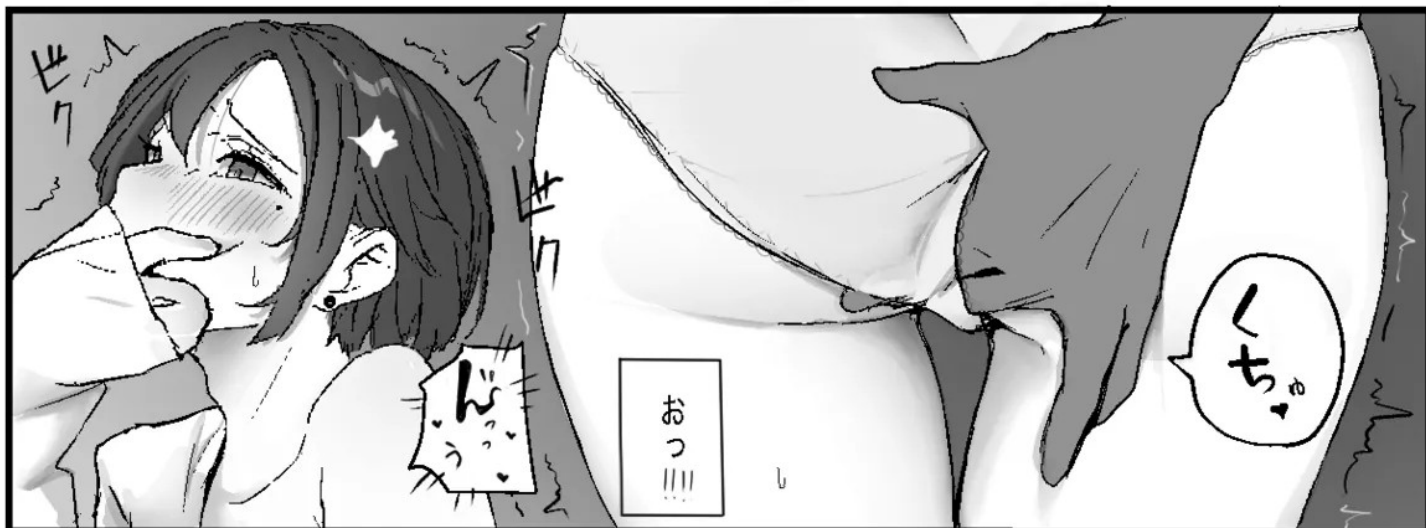
感度たかつ!!

感じやすいだけ…

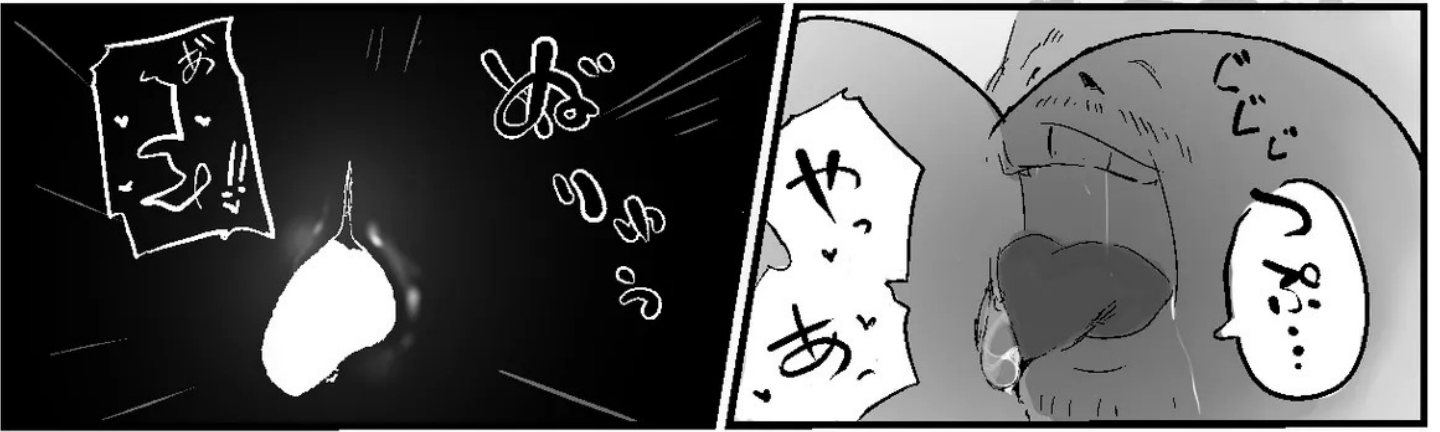
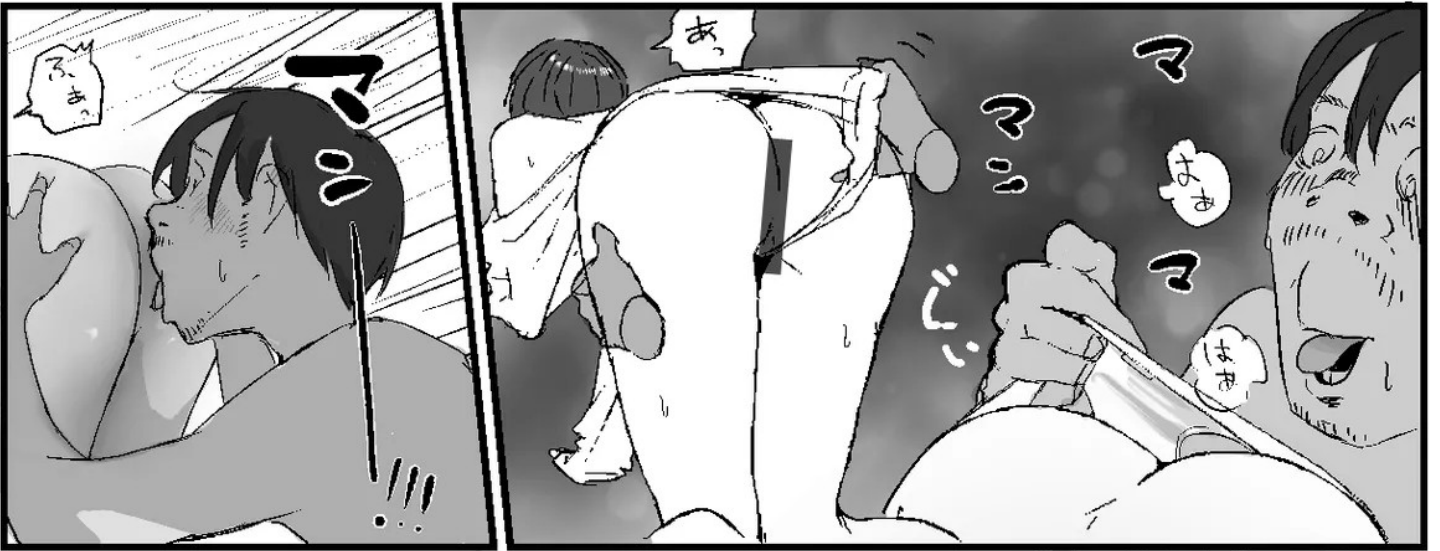
たまんねえ…

…大丈夫











いけっ!!

いけっ!!
いけっ!!

いっててるからあつ

いく!? イキそごう!?

びしょ

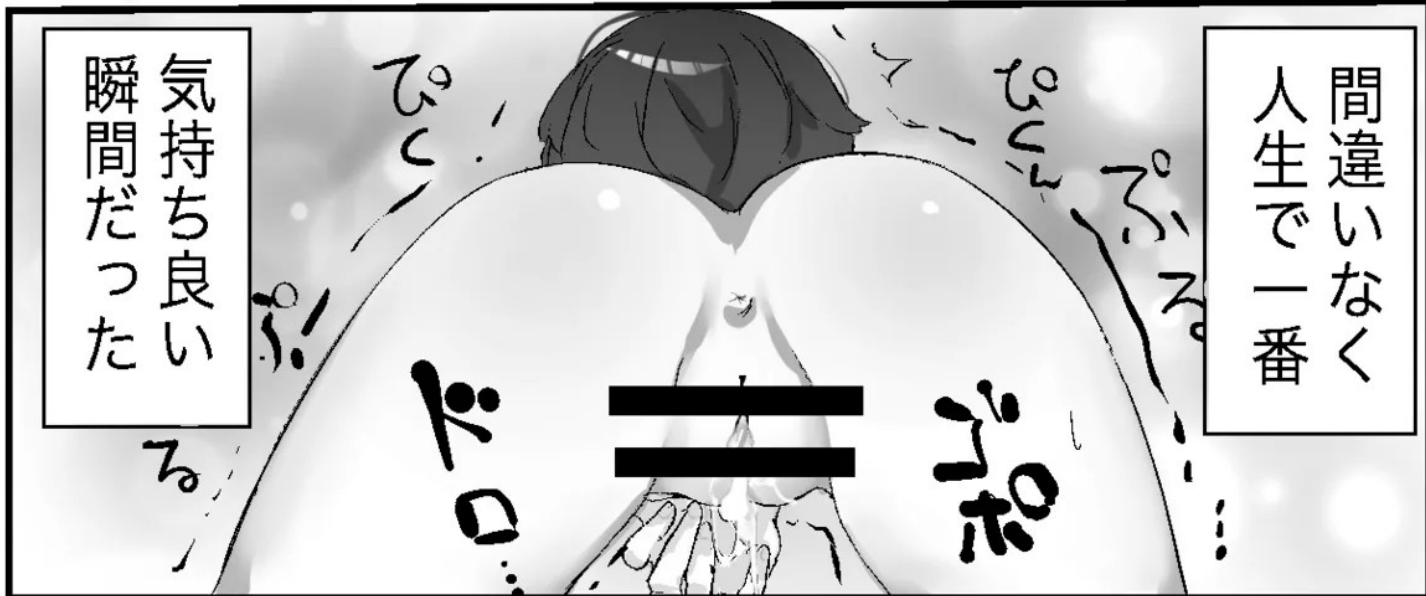
ぶるぶる

びしょ

びしょ

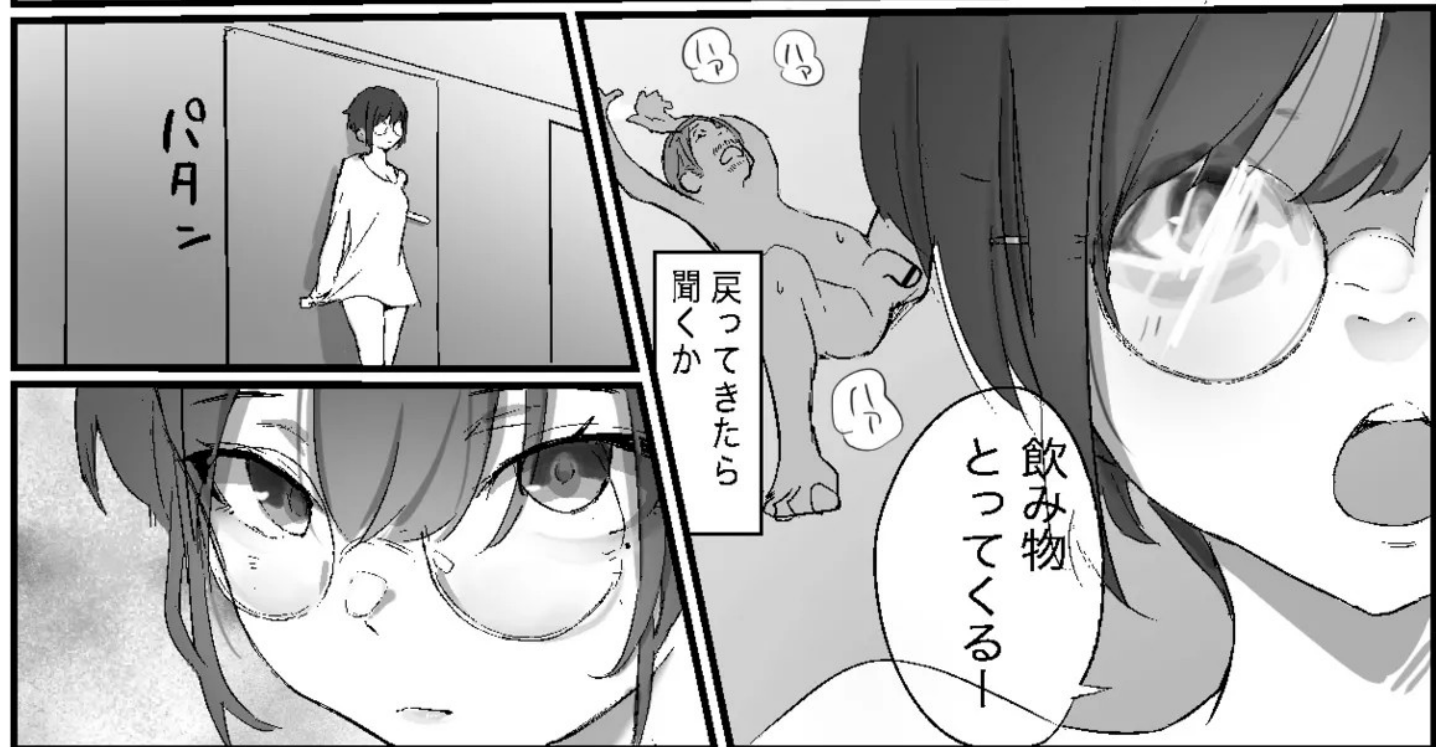


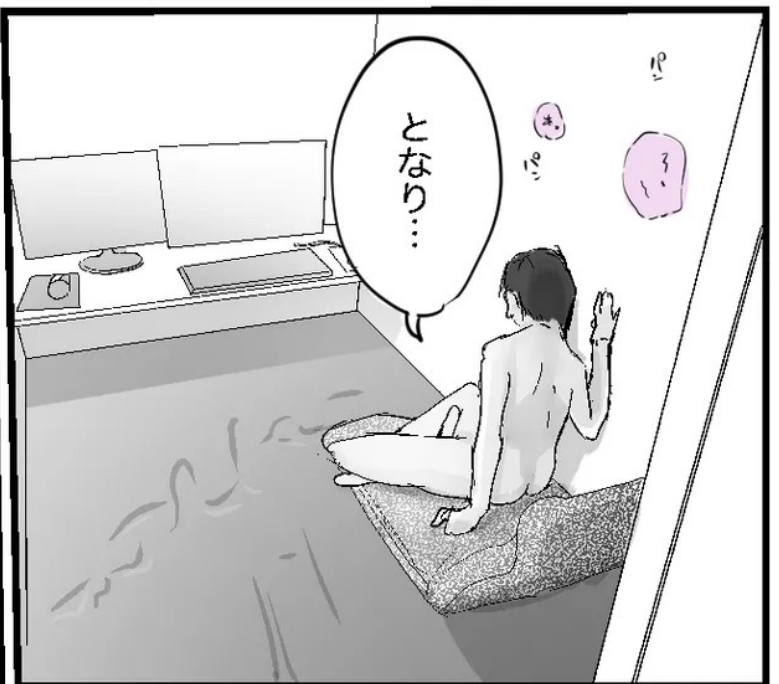
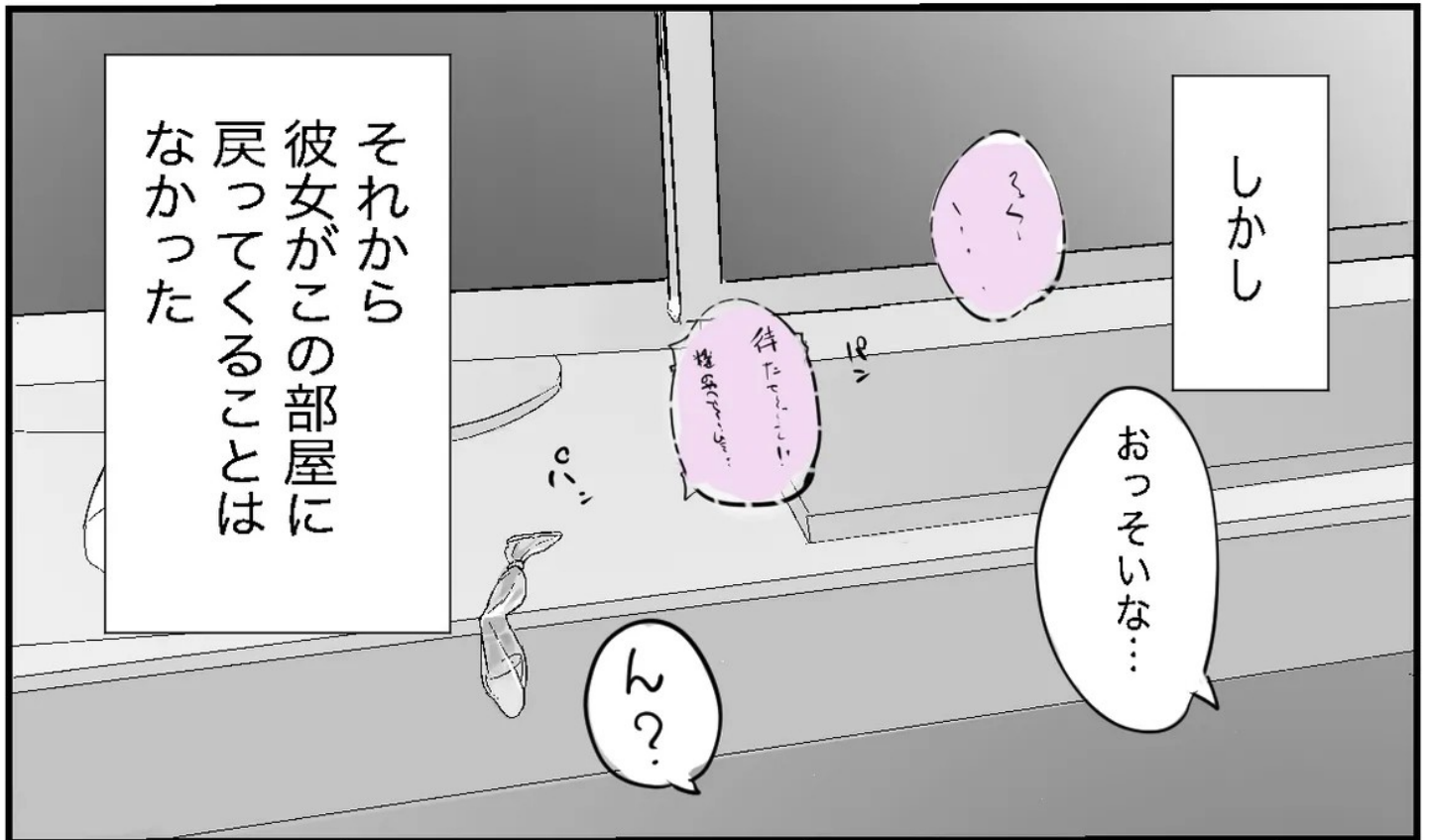
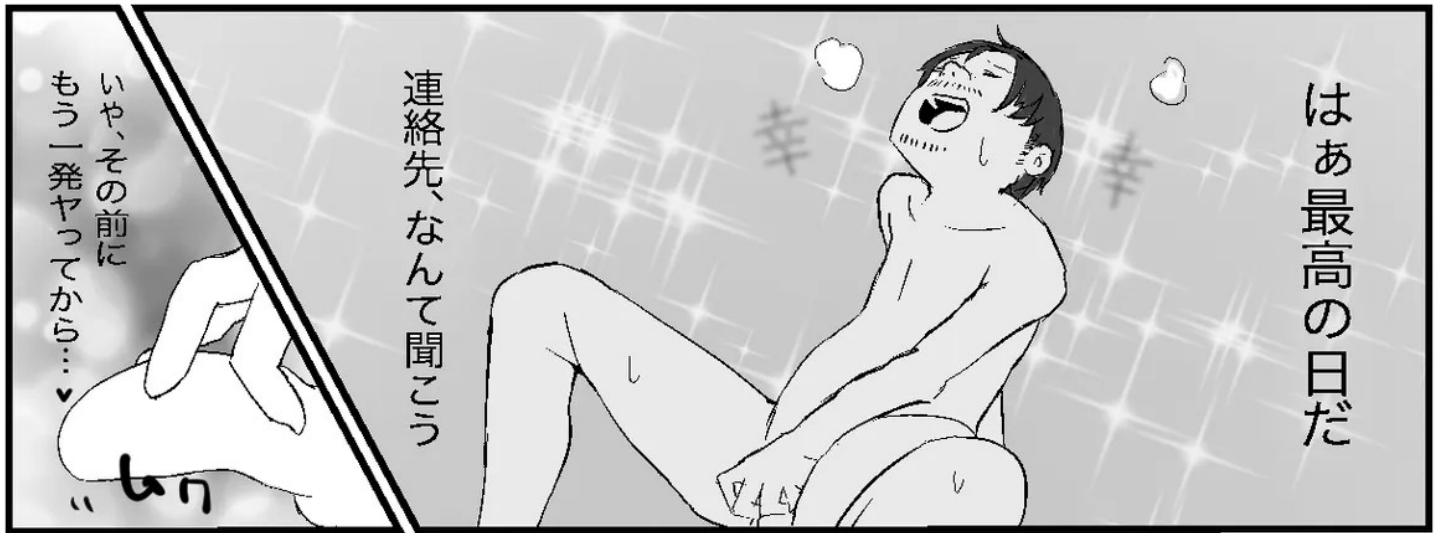




こんな激アツチャンス
一回で終わらせたくねえ

どうする!?
インスタ聞か!?





あとがき

この度はご購入いただき
本当にありがとうございます
ございます!!

このストーリーは
実際にあった出来事を
元に創作しております
もちろん脚色は
加えておりますが
実体験ゆえに
リアリティのある
漫画が描けたと思います。

以下 補足となります
彼女はエッチが好きな
タイプではないが
泊めてくれる恩は
返さないといけない
そう思いながらも
返せるものがない…

仕方なく…という心情をわかってしつつ
欲に溺れて求めてしまう男性を描きました。

最後までご覧いただき本当にありがとうございました!
お礼におまけをどうぞ!



待たせやがって!!

おまけ

あ

ん

お

お

あ

お

絶対
寝かせねえからな!!

隣のやつのせいで
ムラムラしてんだよ!!

ふん

